

カレッジだより



21期生の入学式

咲き誇る桜の中、第21期生395人の入学式が、4月4日午前10時30分からカレッジホールで行われました。体調を崩して欠席した今井鎮雄学長に代わり、関西学院大学元学長の武田建氏（運営委員）が祝辞を述べ、「新入生の皆さんには、大きな夢を描き、新しいことにチャレンジしていただきたい。この3年の間に交わりの輪を築き、卒業後も、この輪を大きく広げてほしい」と激励しました。コース別入学者は健福73、国際97、生環70、美工39、音文40、園芸36、食文40人。

新入生代表の石河律子（健福）さんは「学んだことを地域に還元し、みんなで支え合う社会にしたい」と決意を述べました。



音文18期生による校歌斉唱

カレッジには、9時30分ごろから新入生が続々と登校、学園生活に胸を弾ませているようでした。ロビーでは東北支援の募金を募り、各クラブは苦心の紹介パネルを背に、新入生の入部を勧誘していました。中庭ではフラダンスなどのデモンストレーションもありました。

グループ学習の合同発表会

18期生グループ学習合同発表会が2月27日、カレッジホールで開催され、卒業生や在学生500人が熱心に聞き入りました。発表は午前10時の音文専攻から始まり、昼食を挟んで園芸コースまで17グループが映像などを使って順次発表しました。ふれあいホールでは美術・工芸専攻の絵画・陶芸作品が展示されました。各コース、専攻の代表発表テーマは次の通りです。

【音文専攻】①和太鼓グループ②パーカッショングループ③合唱（全員）【生環コース】①水・この不思議な力②再生可能エネルギーの事業化と普及③駅・ひと・まち 駅からはじまる地元愛【国際コース】①ラオス織物紀行②THE PARTNERS ③神戸は、なぜパン食文化先進地となったか？【食文専攻】①きのこの食文化②おもてなし雅弁当【健福コース】①好齢者として生きる！②少子・高齢化社会を支えるロボット君③笑涯学習～笑って健康長寿【園芸専攻】①園芸18期実習あれこれ②『すいか』の栽培について

18期生358人が巣立つ

第18期生の卒業式が3月20日、カレッジホールで行われ358人が巣立ちました。式は今井鎮雄学長から各コース・専攻の代表者に卒業証書が授与されたあと、学長、来賓代表の三木孝・市健康福祉局長、在校生代表・渡辺純二さん（美工2年）の祝辞があり、卒業生代表の築山義俊さん（美工）が謝辞を述べました。このあと、参加者全員で校歌を歌って散会。個人へは各教室で卒業証書が手渡されました。



笑顔あふれる卒業生＝四方久幸（国18）撮影

コース別の卒業生は健康福祉63人、国際交流77人、生活環境78人、美術工芸36人、音楽文化34人、園芸35人、食文化35人。卒業生からはミーティングテーブル3脚とミーティングチェア18脚の贈呈がありました。

地域交流会を開催

25年度の地域交流「振り返りの会」が3月17～18日の2日間、カレッジホール・学習室で開催されました。グループ〈わ〉からも区会長8人が出席。これはカレッジの要請を受けてのことですが、これまで、ばらばらに行ってきた地域でのボランティア活動を、在校生とOBが連携を図り、合同で取り組むことを目的としたものです。今回は、挨拶程度のものでしたが、6月に開催される26年度第1回地域交流会では、区ごとに区会長から地域交流活動についての説明を行う予定です。

名器ガルネリに酔う

世界的ヴァイオリニスト・戸田弥生さんを招いてのコンサートが3月24日、たんぽぽの家2Fホールで開催され、約100人のファンが名器ガルネリの音色を堪能しました。プログラムは、イザイ：無伴奏ヴァイオリンソナタ第6番、バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番に始まり、クライスラー：愛の喜び、マスネ：タイスの瞑想曲など10曲。ヴァイオリンとは思えない、力強い圧倒的な音量で会場を魅了。「こんなすごい音色は初めて聴いた」と口々に興奮気味の感想が聞かれました。主催はクラシック同好会。昨秋から準備にかかりやっと実現したものです。

●カレッジ事務局人事 3月31日付【退任】松島秀明（事務局長）4月1日付【新任】藤本義兼（事務局長）・三浦明美（事務局員）【転任】筒崎康孝（教務リーダー）